

令和8年第1回教育委員会定例会 議事録

1 教育長あいさつ

2026年令和8年がスタートしました。今年の干支は午です。古くから馬は人々の暮らしに欠かせない存在でした。農作業や移動を助けてくれるだけでなく、神社では神様の使いとして神馬として奉納されることもあったようです。午年は努力や挑戦が実を結びやすい年とも言われています。そうした年になることをめざしたいものです。

さて、1月2日の「はたちの集い」には雪が降る中、委員の皆様にはご臨席いただき、激励してくださり、ありがとうございました。192名対象で176名が参加という近年にない高い参加率でした。また、6日（火）には県東部で地震が発生しました。市内では、大きな被害は確認されておりません。冬季休業中であったことも幸いましたが、児童生徒が在校している間に発生したとしたら、どうだったか、校内で確認しておくことも重要であると考えます。

さて、今日は市内11校全てで3学期始業式。1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるほど、とても早く過ぎていく3か月です。子どもたちも教職員も今年度のまとめをしっかりとしてもらい、成長したこと、改善が求められることを整理していただくことを期待しています。

2 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3 議事録署名委員

○教育長

本日の署名委員は、佐々木委員と岡田委員にお願いします。

4 議決事項

① 指定校変更(校区外就学許可)について(新1年生分)

○大石学校教育課長より説明

変更理由)許可基準5-(5) 「指定校に希望する部活動がない場合」 2件

変更理由)許可基準5-(6) 「友人関係への配慮等」 2件

<委員からの意見・質疑等>

○佐々木委員

江東中学校から江津中学校への指定校変更は毎年かなりの件数が出ている。学校再編について検討する必要があるのでは。

○大石学校教育課長

今年度、新たな学校再編計画を検討するので、その中に盛り込んでいきたい。また、計画策定の際に保護者や地域住民にヒアリングやアンケートを行うので、その中ですぐに統合してほしいという要望が出ればその方向で進めていきたいと思っている。

○押越委員

指定校変更の希望者が多い場合、スクールバスへの乗車は考えられないか。

○教育長

指定校変更の場合は、スクールバスは出さない方針としているので出すことはできないが、学校再編で統合すれば出すことはできる。いずれにしても学校再編については、喫緊の課題だと感じている。

○岡田委員

まとまって指定校変更が出た場合、保護者からスクールバスを出してほしいという要望は出ているな

いか。

○大石学校教育課長

まとまって要望は出でていないが、部活動でスクールバスを出せないかという要望は出たことがある。

<全員一致で承認>

② 津宮小学校及び川波小学校の統合時期について

○大石学校教育課長より説明

統合期日は、令和 10 年 4 月 1 日とする。

<委員からの意見、質疑なし>

<全員一致で承認>

③ 給食費の改定について

○大石学校教育課長より説明

物価の高騰及び国の一 部無償化に伴い現在かかっている食材費を算定し、小学校は 275 円を 360 円に、中学校は 310 円を 410 円に改定したい。

小学校は国が一部無償化として月額 5,200 円、1 日あたり 260 円の補助をする予定なので、差額の 100 円を保護者負担とすることを検討中。

中学校は、増額となる 100 円の対応については検討中。

<委員からの意見・質疑等>

○岡田委員

国が行う無償化は、中学校は同時に行われないのか。

○大石学校教育課長

中学校は、全国的にみると、まだ給食となっていない学校があり検討が必要なためと思われる。

○天倉委員

中学校の増額分を市が補助するとしたらいくら必要なのか。

○大石学校教育課長

約 1,000 万円必要と見込んでいる。

<全員一致で承認>

5 協議事項

① 仮称西部統合小学校の校名について

○大石学校教育課長より説明

統合小学校の校名について、8 月から 10 月末まで募集をし、84 件の応募があり 57 種類の校名案がでてきた。この中から仮称西部統合小学校統合準備委員会において、「江津西小学校」、「青陵小学校」、「つぬの丘小学校」の 3 つに絞られ、本委員会で市に推薦する学校名を 1 つに絞り込みたい。

また、統合小学校の番地は、新校舎の中心の地番が二宮町イ 1220 であるので、ここで住所の表示をしたいと考えている。

○教育長

一人ずつ意見を聞きたい。

○佐々木委員

私は統合準備委員会に出席していたが、「江津西小学校」と「青陵小学校」が数が多くかった。現在中学校は青陵であり、青陵という言葉は地域に浸透している。当初は「江津西小学校」がいいかなと思っていたが、色々な意見を聞くなかで、「青陵小学校」がいいのではと思っている。その他の応募があつた名前などは、校歌に反映すればと思った。

○天倉委員

学校の名前は、地名からとっている場合が多いが、今回の統合では地区が多く難しい。保護者や子どもの思いを大事にしてあげたい。親しみやすさ、納得感、浸透などを考えると「江津西小学校」かなと思う。中学校と同じ「青陵」だと間違えてしまう可能性がある。

○押越委員

江津東があるから江津西というのがシンプルでいいと思う。私としては青陵と言えば中学校のことを表すと思っているので「江津西小学校」がいいかなと思う。

○岡田委員

私は桜江町在住なので、小学校、中学校とも同じ「桜江」だが、両方のPTAの役員をしていた際に、会議の出席を間違えたことがあった。そういうことを勘案すると、「江津西小学校」にした方が間違えないかと思う。

○教育長

小学校と中学校が同じ名前なのは、県内でもたくさんある。同じ名前だと困るということが選ぶ理由ということには、少し違和感をもつ。

中学校が「青陵」になった理由は、青山の青や青い海とか青春とか、小高い丘の上にあるので陵というイメージで決定されたと聞いている。

○大石学校教育課長

学校の再編について今後検討することにしているが、検討状況によっては東部の学校も再編の対象となり、東という表現がなくなる可能性もある。

○佐々木委員

青山中学校が跡市中学校と統合して青陵中学校になった際には、違和感をもつたが、今は浸透している。

○天倉委員

東があるから西というイメージより場所が明確になるということ。自分が育った学校が江津の西にあるというのは覚えやすいし伝えやすい。

○押越委員

応募した子どもたちの意見はどうなのか。

○教育長

「青陵小学校」を応募した中には子どもがいるが、「江津西小学校」を応募した子どもはない。

また、準備委員会に出ていた学校の管理職は「青陵小学校」がいいという意見が多かった。

統合準備委員会の各委員の意見を紹介してほしい。

○事務局

仮称西部統合小学校統合準備委員会の各委員の意見を紹介。

○佐々木委員

どこにもない名前と言えば「青陵」。「青陵」は江津というイメージはある。

○岡田委員

子どもたちに、自分は江津の西で育ったという機運を醸成させてあげたいので、「江津西小学校」がいいかと思う。

○国沢社会教育課長

自分は都野津に住んでいるが、江津の西という感覚は持っていない。行政的にはそういう分け方をするが。

○教育長

確かに、合併の協議の際に桜江を南部と言っていたが違和感を持った。

今まで、いろいろな意見が出たのでもう一度意見を伺いたい。

○天倉委員

地域がわかるという意味で「江津西小学校」がいいと思う。

○佐々木委員

青陵という言葉については、大人も子どもも馴染んでいると思う。青陵という名は県内にはないのでは、青陵と言えば江津というイメージもある。「青陵小学校」でいいと思う。

○岡田委員

「自分が育った学校が江津市の西だったよと、覚えやすい、伝えやすいと思う。」という意見がいいと思うので、「江津西小学校」かなと思う。

○押越委員

当初は「江津西小学校」がシンプルでいいと思ったが、子どもたちが青陵を応募していると聞いて、「青陵小学校」を押したいと思う。

○佐々木委員

2対2となったので、事務局判断はどうか。

○岡田委員

教育長の判断でいいと思う。

○教育長

青陵中学校校区の佐々木委員の気持ちや子どもが選んでいるということを勘案して、「青陵小学校」で推薦したいと思う。

推薦理由は、応募数が多かったこと、都野津から波子まで広がる日本海の青、跡市や有福へつながる広大な丘などの地理的、自然的な特徴や名前の浸透状況、青山地区の青、中学校との一体感などを理由にしたいと思う。

校名を「青陵小学校」で推薦してよろしいか。

○全教育委員

異議なし

<全員一致で承認>

6 報告事項

① 令和7年第4回(12月)市議会一般質問の概要について

○大石学校教育課長より説明

植田好雄議員、植田圭介議員の一般質問の答弁内容について説明

○国沢社会教育課長より説明

山根兼三郎議員の一般質問の答弁内容について説明

② 江津市第3次学校整備再編基本計画の策定に係るアンケートの実施について

○大石学校教育課長より説明

小学生(4年生以上)、中学生、高校生、保護者、教職員に対して行うアンケートの内容を説明

③ 心の相談箱及び見守りフィルタの対応状況について

○大石学校教育課長より説明

心の相談箱は該当なし、見守りフィルタ3件の対応について報告

④ 令和8年はたちの集いについて

○国沢社会教育課長より説明

出席者及び内容について説明

⑤ 読書傾向と図書館に関するアンケートの実施について

○植田社会教育課長補佐より説明

アンケートの内容及び実施方法について説明

○天倉委員

何のために行われるアンケートかわかりにくい。

○植田社会教育課長

主旨のところをわかりやすくするよう検討する。

次回定例会 予定

2月5日(木) 13:30 決定

午後4時13分終了